



碩田中学校区新設校

開校準備委員会NEWS



第七回開校準備委員会を開催しました

十一月十五日（火）の午後七時から、大分市教育センター研修室二〇二において、第七回開校準備委員会を開催しました。会議では、第七回開校準備委員会までに各専門部会で検討した事項について報告がありました。

はじめに、学校部会の安東部会長から、主に制服や校章、校歌についての説明がありました。結果、開校年度の平成二十九年度においては前期（一〜四年生）の制服の導入を見送るとの報告がなされました。

次に学校支援部会の佐藤部会長から、学校を支援する体制や、PTA組織、地域連携室、児童育成クラブについての報告がありました。学校を支援する体制については、情報の共有と共通理解が必要であり、三校がまとまって協議する場を今後検討していくことが報告されました。児童育成クラブについて、来年の四月一日開所を目指すという旨の調整を進めています。

次に施設部会の兼子部会長より、新校舎の各階にフロアカラーを設定したことや、三小の四〜六年生を対象とした現場見学会を開催することなどが報告されました。

（各専門部会からの報告は、二〇〇〇〜四〇〇〇面に記載していません。）最後に、西村アドバイザーから、校舎内の案内や誘導に使えるサイン計画などについて助言をいただき閉会となりました。（内容は四面に記載していません。）

**第8回開校準備委員会は
平成 29 年1月 24 日（火）
大分市教育センター
研修室 302 にて開催します
19:00 ~ 20:30**

開校準備委員会の会議は
傍聴できます



工事の進捗状況について

- 校舎の外壁が完成したところから、足場や防音幕が撤去され、建物の外観が見えてきました。
- 内部についても、1階から順に内装工事が進んでいます。
- 工事の進捗率は11月末現在で約79%となっています。完成が近づき、ますます期待が膨らみます。



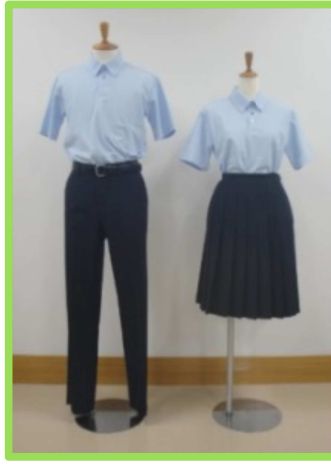
学校部会からの報告

制服について

【冬服】



【夏服】



- ◆ 中後期（5～9年生）の制服です。
- ジャケットは「イートンスタイル」という、襟の無いイギリスの伝統的なデザインです。
- シャツはカッターシャツではなくポロシャツの生地を使っています。
- ネクタイ・リボンはワンタッチで装着出来ます。
- 女子はスカートだけでなく、キュロットやスラックスも選択できます。



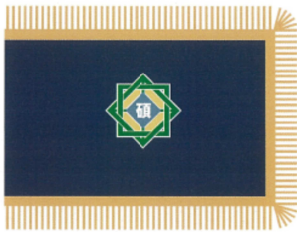
○ 前期（1～4年生）の制服について

前期からの制服導入（平成29年度入学の新1年生からの制服導入）について、アンケート調査を行いました。結果は、賛成が49%、反対が51%となったため、開校時（平成29年度）前期は制服を導入しないということになりました。

校章・校旗について



○ 「碩田」の地名は、「大分」の古名である「碩田（おおきた）国」に由来しています。また、「碩」には、「優れている」、「充実している」という意味があります。このような歴史や伝統のある「碩田」の文字を、日本の伝統色と家紋の「組み合い角」を用いてデザイン化することにより、これまでの4校（碩田中、荷揚町小、中島小、住吉小）、さらに学校、家庭、地域社会の強い絆を表現しています。



～校章に使われている伝統色～

◆ 常盤色（ときわいろ）

松や杉などの常緑樹の葉の色のように茶味を含んだ濃い緑色。

常盤は常に変わらないことを指す言葉で長寿と繁栄の願いが込められた色です。江戸時代にも縁起のいい色として好まれていました。

◆ 青竹色（あおたけいろ）

成長した青竹の幹のような明るい青緑。竹は成長を表す縁起のいい色です。

◆ 刈安色（かりやすいろ）

緑味の鮮やかな黄色。山野に自生する稲の色で、緑と相性のいい色です。

校歌について

○ 大分県立芸術文化短期大学の中山欽吾学長が碩田中学校の卒業生ということで推薦依頼を行い、音楽科の河野敦朗教授の推薦をいただいています。

○ 子どもたちから募集した、校歌の歌詞に使ってほしい言葉や、碩田学園のランドデザイン等を提供し現在制作中です。



施設部会からの報告

○ フロアカラーについて

児童生徒は、ひとつの校舎で9年間という時間を過ごすことになるので、色の違いを感じることで自分の成長にも気付くことが出来るよう、各階のフロアカラーを設定しました。

○ 現場見学会について

3小学校の4～6年生を対象とした新校舎の現場見学会を11月24日、25日に開催しました。

○ 給食配膳について

児童生徒の給食配膳に対する負担軽減を目的として、新校舎には、2～6階の各階に配膳室を設けています。

★ 新設校の特徴 ★

現在、碩田学園は色々な特徴を備えて、建設工事を行っています。今回（3回目）は、特徴的な場所における現在の進捗状況についてご紹介します。

外観（西側）

・外部足場が順次撤去され、外観カラーが見え始めました。



大アリーナ

・大アリーナは全校児童生徒の収容が可能です。現在は、内部工事の真っ最中です。



メディアセンター

・図書館とパソコン室を併設したメディアセンターは、これから内装工事を行って、本棚やパソコン机などが配備されます。



屋内プール

・体格の違う児童生徒の授業の円滑化を目的として、床可動式温水プールとしています。現在は、内装工事と可動床調整工事を行っています。



音楽室

・3階北側に図書室・美術室・音楽室等の芸術諸室をまとめて配置しました（芸術エリア）。現在は内装工事もほぼ完了しています。



1・2年生教室

・学校生活に早く馴染んでもらうための一段上がった座スペースや手洗い場を設置し、一連の作業が教室内で可能です。現在は、内装工事を行っています。



3～6年教室

・廊下側の間仕切りが全てオープンになり、廊下を取り込んでの幅広い授業形態が可能です。現在は、内装工事を行っています。



※各教室は、教科書や机などのA4化（サイズアップ）に合わせて、従来より教室の横幅を1m大きくしています。

学校支援部会からの報告

学校を支援する体制について

○ 碩田学園を3校区で支援するためには情報の共有と共通理解が必要であることから、3校区の関係者が集まって情報共有する場の設定について検討することになりました。

《今後の取組》

○ 現在碩田中学校にある学校運営協議会を足がかりにし、そこを発展させて組織を作るといった視点も含め、地域と学校を結び付けるような組織が出来るよう、今後検討していきます。

児童育成クラブについて

○ 担当課の子育て支援課より、3校区の児童育成クラブの会長を含む代表者による合同検討会で協議してきた内容について、対象児童や開設内容などに関する報告がありました。

○ 開所日については、平成29年4月1日で調整を進めています。

地域連携室について

○ 使用目的や使用方法、鍵の管理等について協議を行いました。使用目的については、

◆ 碩田学園の児童生徒の健全育成につながる場として使用する。

◆ 地域住民の生涯学習活動を実施する場として使用する。

などの意見が出されました。その他、使用条件などについて出された意見については、今後も協議を行い、使用等に関する決まりごとを検討していきます。

アドバイザーより



西村アドバイザー

- ・校章デザインについて、制作している人は色々とデザインの意味を知っているし考えていたりするが、後から見ると意味が分からないといったことが良くある。そうならないためにも、今のうちからデザインをした人に話を聞いておくと、物語をさらに膨らませることが出来る。
- ・公共施設をデザインすると、施設内の案内や誘導のためのサイン計画をするのだが、しばらくして行くとあちこちに矢印などの貼紙がされることがよくある。そうならないためにも、使う側と設計者がしっかりコミュニケーションをとると、使う人に寄り添った設計が出来る。
- ・それから、掲示物があふれて学校が混乱するのを防ぐためにも、学内の掲示ブースの場所や大きさを確認しておく必要があると思う。ただし、子どもの作品があちこちに貼られるのは喜ばしいことだと思うのでどんどん貼ってほしい。

〈編集後記〉

開校準備委員会の様子を広くお知らせするため、開校準備委員会NEWSを発刊するとともに、市のホームページにおいても会議の要旨などを公開しています。

積極的な情報発信に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

碩田中学校校区新設校
開校準備委員会NEWS「第7号」

発行：平成28年12月

事務局：大分市教育委員会教育企画課

連絡先：大分市荷揚町2-31

097-537-5903（直通）

kyoikukikaku@city.oita.oita.jp